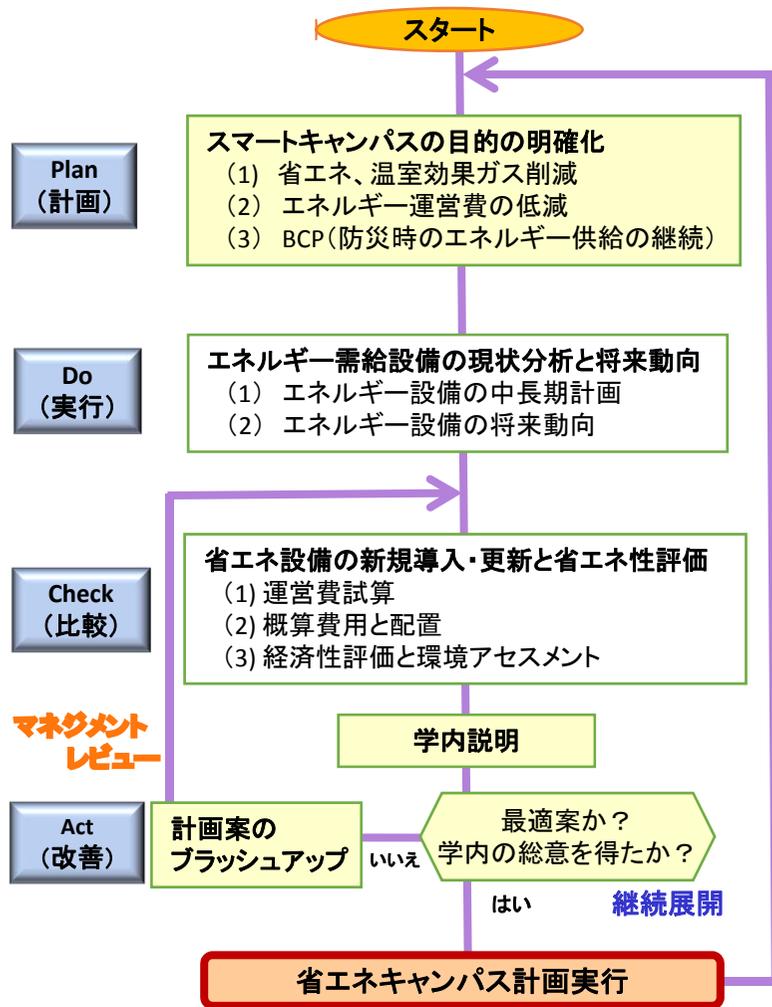




【省エネキャンパス実現に向けた支援】

CO₂削減施策を実行するための手順
継続改善 (PDCAサイクル)



省エネキャンパスを目指す大学に積極的に技術面や地域連携について支援を行います。

MIEUポイント

(MIE:三重,U:Universityと'あなた(yoU)'を意味する)
各自が実践した環境・省エネ活動を簡単に
入力し、成果がすぐに「見える化」するシステム
行動にインセンティブを付与



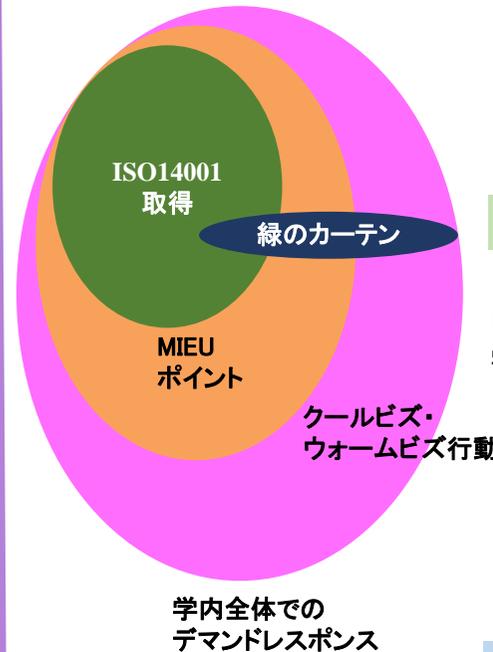
MIEUポイント入力中

緑のカーテン

日射が強い南面校舎の前面に植物を植え
「緑のカーテン」として空調負荷低減とCO₂を吸収する
学生主体の活動



環境・情報科学館の緑のカーテン

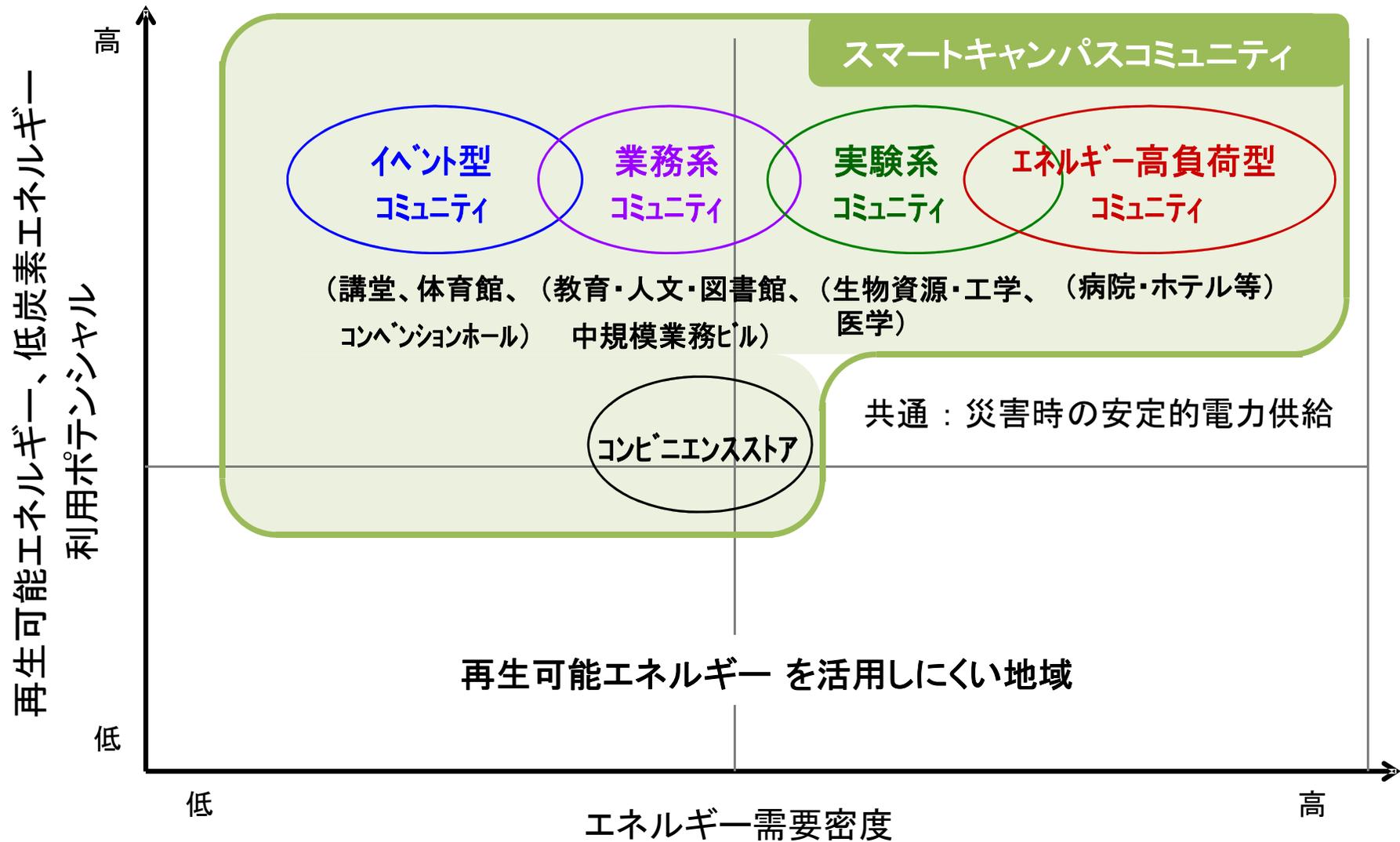


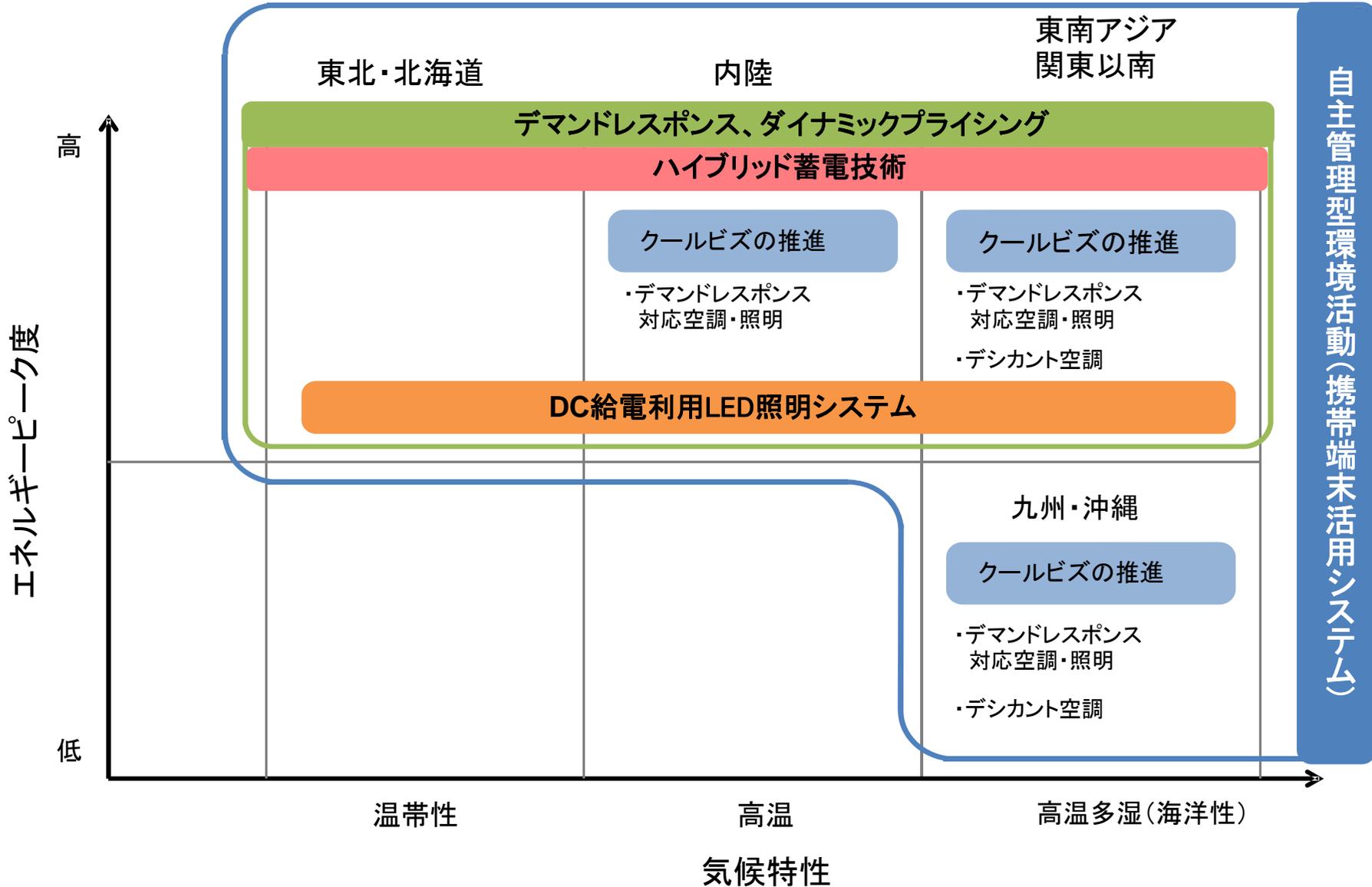
デマンドレスポンス(節電活動)

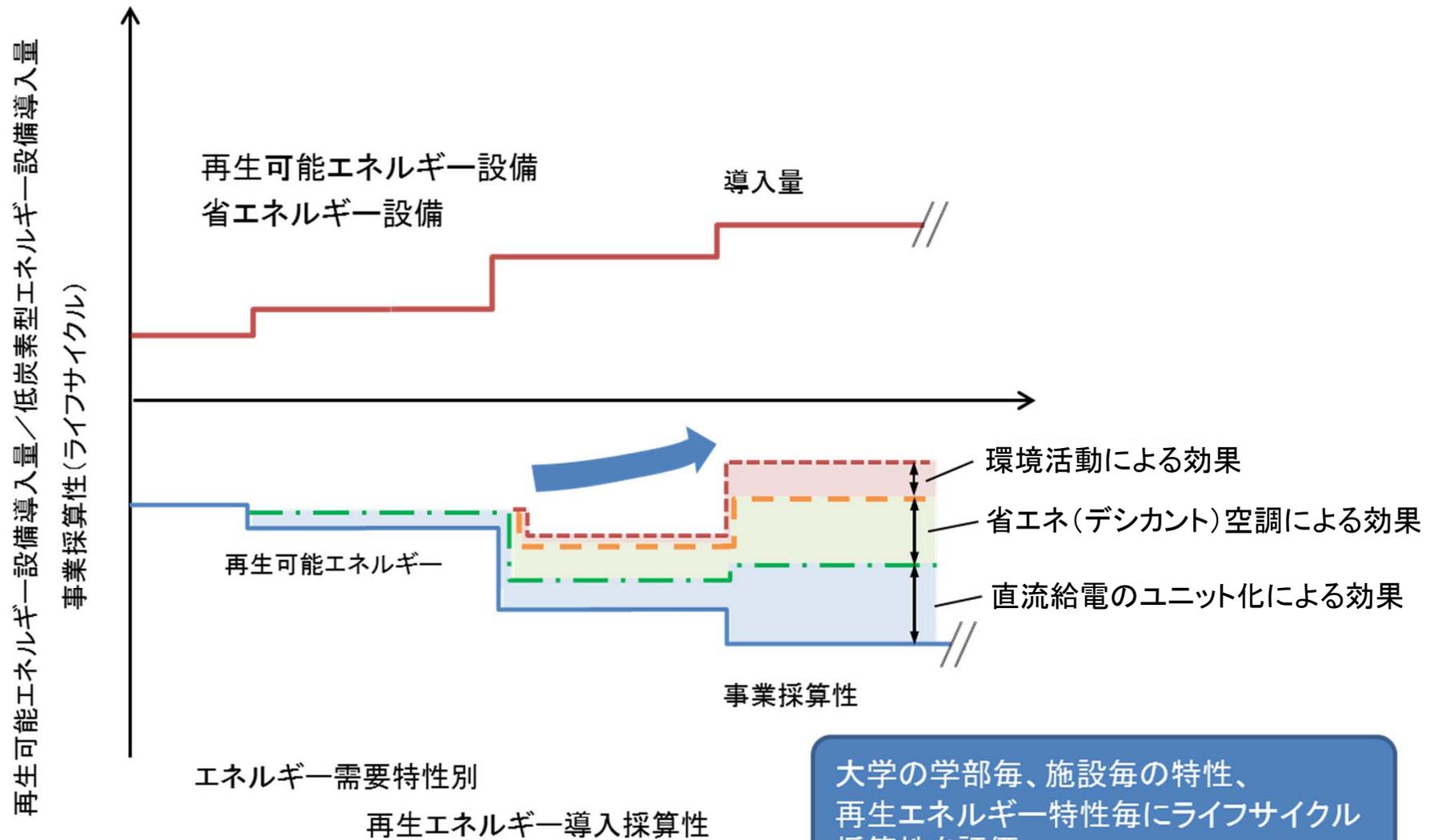
電力ピークが発生する盛夏時の午後を実施する
節電行動
料金体系は2つ(通常料金とクリティカルピーク
プライシング)から選択



大学や事務所への適用検討

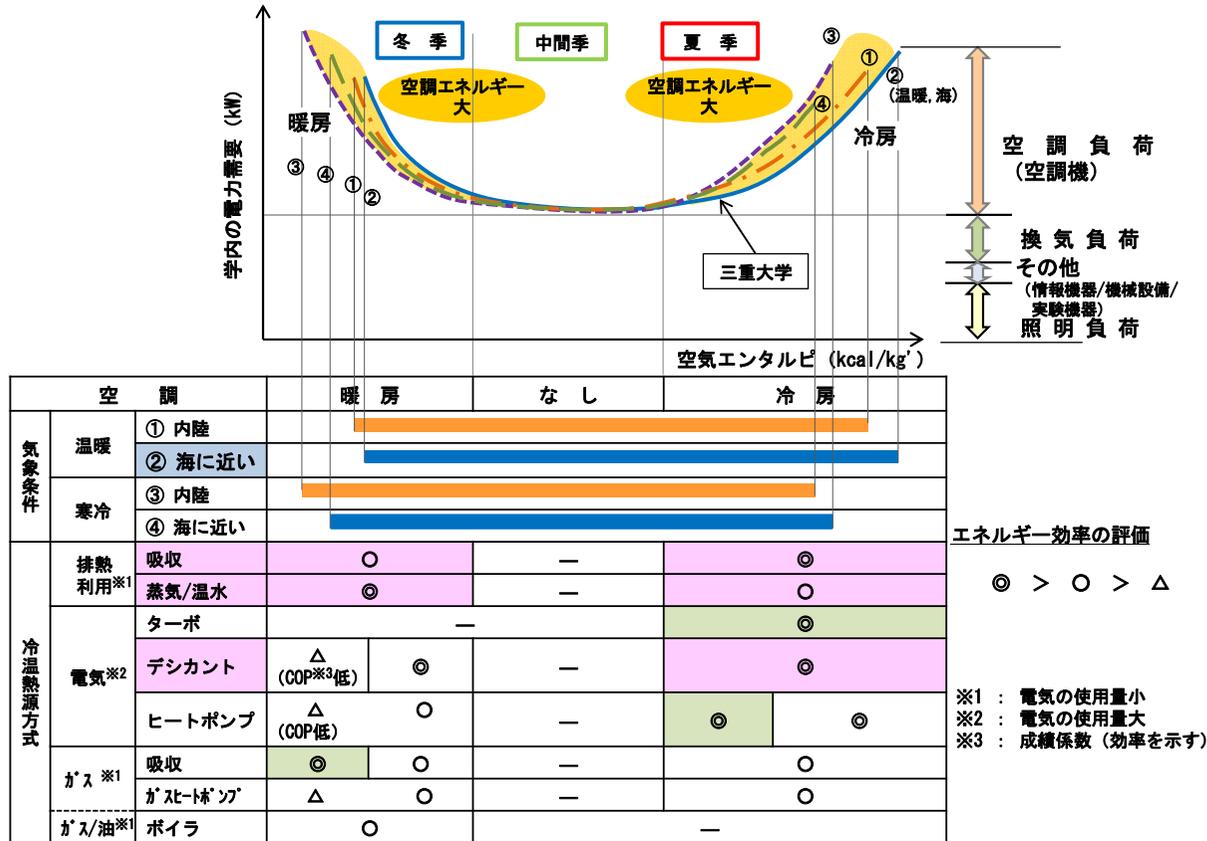








冷温熱源設備の最適化計画には、大学が設置されている地域特性(寒冷,温暖や海に近いか内陸)を考慮することが重要である。異なる気象条件毎に適切な冷温熱源方式を示す。この区分けにより、地域毎の最適な熱源方式を選定する指針を作成した。



地域毎の最適な空調熱源方式の選定

省エネルギー対策は、短期間(3~8年)で投資回収が可能な設備から長期(10年以上)に亘るものまで多様である。実際には、短期回収の設備を増やして事業採算性を向上させると共に、長期回収設備の規模は小さくし、両者を組み合わせて全体で省エネルギー量を増やす最適化を行う。この考えは、条件が異なる多様な大学に対し適用できる。